

## Desk Top Music

2 units 2nd-year(2nd semester)

Kazuto Miyazawa · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 現代では音楽の製作にシンセサイザーやコンピュータは不可欠な物になっている。これらの機材を使いこなすことが一部の人にだけ許された時代はすでに終わり、今日では非常に身近な存在になっている。しかし、これらの機材の能力を十分に生かすためには、身につけなくてはならない新しい知識も多く、さらに多種多様な音楽への理解も大切である。この講義ではデスク・トップ・ミュージックに必要な知識を学び、実践に役立てることができるようにすることを旨とする。

**Outline)** コンピュータとシンセサイザーを組み合わせた音楽制作の方法について学ぶ。

**Keyword)** シンセサイザー, *MIDI*, コンピュータと音楽

**Fundamental Lecture)** “現代音楽芸術論”(1.0), “音楽理論研究”(1.0)

**Relational Lecture)** “*MIDI* 概論”(1.0), “デスク・トップ・ミュージックゼミナール”(0.5)

**Notice)** この講義は、卒業研究でデスク・トップ・ミュージックの専攻を希望する学生にとっては必要不可欠である。

**Goal)** 各種シンセサイザーの構造と音作りの方式を理解し、それらの音色を的確に使いこなすことができる。また、音楽制作のためのテクノロジーを十分に理解する。

**Schedule)**

1. シンセサイザーとコンピュータの原理, 正しい使用方法
2. アナログ・シンセサイザー
3. デジタルシンセサイザー
4. GM 音源及び各メーカーの拡張企画
5. それぞれの音色の特徴とその生かし方
6. ドラムの入力
7. ベースの入力
8. 鍵盤楽器の入力
9. スtringsとホーンセクションの入力
10. 様々なリズムパターンの分析
11. 映像の音楽が加わることで何がかわるか, 音楽の効用
12. *MIDI* 信号(ノートオンとノートオフ)
13. *MIDI* 信号(音色の選択とピッチベンド)
14. *MIDI* 信号(コントロールチェンジ)

15. 総括授業(コンピュータと音楽の最前線)

16. 期末レポートの提出

**Evaluation Criteria)** 講義中の小テストおよびレポート

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)** 使用しない。講義の時に資料を配布することがある。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219066>

**Contact)**

⇒ Miyazawa (multimedia-A 204, +81-88-656-7163, miyazawa@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (Office Hour: 水曜日昼休み(研究室に在室している時は、特別な場合を除いて対応可能))

**Note)**

- ◇ 後期, 金曜日 5-6 講時
- ◇ 人間文化学科の「デスクトップミュージック」と同時開講